

ぴらたんニュース

6
2017

京都にちなんだ
話題をお届けします。
京style



「水無月」

6月は「水無月」と言われますが、京都で「水無月」と言えば和菓子と思う方が多いと思います。三角形のういろの上に乗ったもので、もちもちした台と、小豆の淡い甘さがほどよくあうお菓子です。では、なぜこのお菓子を水無月というのでしょうか。6月は1年の折り返し点で、もう一つの正月といわれます。また、6月1日を「氷の朔日（こおりのついたち）」と言い平安時代から「氷室」を開く日でもありました。氷室とは天然の雪や氷を貯蔵しておく場所で、開くのは夏が始まる旧暦6月1日と決められていて、宮中では、中の氷を食べる「氷室の節供」が行われたそうです。この日、希少な氷は、臣下にも分け与えられていました。京都の北山には、いくつもの氷室があり、厳冬のうちに切り出した氷を深い穴蔵に貯蔵していたそうです。庶民にとっては夏の水はとても貴重で、ましてや氷など簡単に食べられるものではありません。そこで、宮中の貴族にならって氷をかたどった菓子が作られるようになりました。水無月の三角形は氷室の氷片を表したもので、上の小豆は悪魔払いの意味を表しています。氷のかわりに氷の形をしたお菓子を食べて、同様の思いを求めたのが京菓子の水無月です。



学校の象徴に欠かせない **学校旗**

消防団の士気に欠かせない **消防団旗**

勝利の証に欠かせない **優勝旗**

効果のあるPRグッズの定番は **オリジナル のぼり旗**

イメージUP 戦略グッズの定番は **オリジナル ピンバッジ**

地域のお祭りに大活躍する **祭裃天**

印旗・横断幕 腕章&タスキ

神社仏閣幕



株式会社 平 岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL : 075-222-1041

今すぐ
アクセス！ **京都 平岩**

* 配信停止をご希望の方はお手数ですが、
「配信停止」とご記入いただきご返信ください。

